

設立趣意書

我が国の再建はその経済の自立を達成する事によってのみ始めて為し得られるが、その為には今後猶ほ幾多の障害と苦難に満ちた茨の道が横たはってゐます。

我々青年はこれらの障害を乗越へ、茨の道をひるむことなく前進し、青年にのみ与へられてゐる意気と情熱とを以てこの課題を考究すると共に、自らの知性と徳性の練磨に努力し、更には又、既に世界各国の青年会議所を連繋するものとして設立せられてゐる国際青年会議所を通じて我々青年のこだほりなき広い友情の力に依拠し、青年の立場より国際経済と密接に連繋することによって、日本経済の自立と言ふ重且大なる課題の解決をはかるべきであると考へるのであります。

東京、大阪と並んで、我が国経済の一中心を為してゐる中京の地には、昭和十年既に我が国最初の青年経済人の集りである「名古屋ジュニア・チェンバー・オブ・コマース」が設立せられたのでありますが、現在ではその会員の大半は年齢も超過し、同会は「若葉会」として発展的解消を遂げましたので、今回新たに当地区の如上の趣旨に賛同する青年経済人を結集して「名古屋青年会議所」を設立し、日本経済の正しき発展と世界平和の実現にいささかなりとも寄与する処あらんと企図するものであります。

昭和二十五年八月